専門研修プログラム名	順天堂大学附属順天堂越谷病院　精神科　　専門研修プログラム
基幹施設名	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
プログラム統括責任者	稲見理絵

専門研修プログラムの概要	順天堂大学医学部が有する６附属病院全てにメンタルクリニックの医局が存在する利点を活かし、全てのプログラムを大学附属病院内で実施できる点である。本プログラムの基幹施設である順天堂越谷病院、そして順天堂医院、順天堂浦安病院、順天堂静岡病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、順天堂練馬病院の５連携施設は、それぞれの役割を通して、常に精神医学の指導者の指導の下で有機的で専門的かつEBMに基づいた精神医学研修を日々行っており、専門医に並行して精神保健指定医の資格も取得することができる指導体制を整えている。また、研修中の大学院進学も可能である。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	基幹病院である順天堂越谷病院は精神科病棟226床を有する大学病院である。埼玉県東部地域に於ける精神科医療の中核病院として統合失調症・気分障害・認知症を含めた器質性精神障害・アルコールを含む中毒性精神障害・神経症性障害・パーソナリティ障害・児童思春期精神障害・発達障害など殆どの精神障害を急性期から外来での精神科リハビリテーションや精神保健福祉まで幅広く経験できる。大学本院である順天堂医院、高齢者を専門とする順天堂東京江東高齢者医療センター、救急医療との連携に力を入れている浦安病院、地域の基幹病院の機能に加え教育機関と連携した児童思春期の診療を行う静岡病院、リエゾン精神医学を中心とした練馬病院の6病院で専門的かつEBMに基づいた精神医学研修を行う。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	最新のエビデンスに基づき、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度、関連診療科や医療スタッフと協力して、良質で安全で安心できる精神医療を提供する能力。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	科内や病棟での多職種カンファレンスに加え、他科へのコンサルトが容易である。順天堂医院プログラムと共同で行うオンラインセミナーなどを通して、精神・身体を統合した診療についての知識、技能の習得を図る。
	学問的姿勢	専攻医は医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽することが求められる。研修期間を通じて症例を院内及び教室内の症例検討会で発表し、その過程で文献調査をするなどの姿勢を心掛ける。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	患者関係の構築、チーム医療の実践、安全管理、症例プレゼンテーション技術、医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解といった医師としてのコアコンピテンシーに加え、精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾンコンサルテーションなど精神科特有のコンピテンシーの獲得を目指す。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	1年次、2年次には順天堂越谷病院で一般精神医学を、順天堂医院で総合病院精神医学を中心に学ぶ。3年次には、専攻医の希望に応じ、さまざまな専門性を持つ他の病院をローテーションする。
	研修施設群と研修プログラム	研修施設群は全て順天堂大学医学部附属病院（順天堂越谷病院、順天堂医院、東京江東高齢者医療センター、浦安病院、静岡病院、練馬病院）により構成され、各病院に指導医が配置されている。

	地域医療について	順天堂越谷病院では精神保健福祉士と連携し精神科訪問看護や精神科デイケアを利用した社会復帰支援を、東京江東高齢者医療センターでは認知症に対するアウトリーチなどを経験する。
専門研修の評価	3ヶ月毎にカリキュラムに基づいたプログラムの進行状況確認、6ヶ月毎に研修目標の達成度評価を行い、1年毎にプログラム進行状況・研修目標達成度を指導責任者と共に確認し、次年度の研修計画を作成する。評価には研修実績管理システムを用いる。	
修了判定	プログラム進行状況・研修目標達成度の評価を元に、修了判定を行う。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	毎月行われる、基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による専門研修プログラム管理委員会において、プログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
	専攻医の就業環境	各施設の労務管理基準に準拠して就業環境を整備する。当初は順天堂大学精神医学講座の専攻生ないし大学院を受験したうえで大学院生として勤務を行い、希望者にアルバイトの紹介も行う。ローテーションによっては2年目以降助手に就任する場合もある。
	専門研修プログラムの改善	専門研修プログラムは、専攻医からのフィードバックおよび専門研修プログラム管理委員会における議論に基づき、継続的に改良していく。
	専攻医の採用と修了	順天堂医院プログラムと協同し、履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。修了判定はプログラム進行状況・研修目標達成度の評価を元に統括責任者が行う。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	妊娠、出産等を含むライフイベント等に基づき、必要がある時は、研修の休止・中断、プログラム移動などを柔軟に行う。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	研修委員会には医師のみならず看護師や精神保健福祉士が所属してプログラムの評価を行っている。日本精神神経学会によるサイトビジットの際には調査に応じる。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。主な情報として医師名、所属、役職を記述してください。	順天堂越谷病院：馬場元教授、稲見理絵先任准教授、順天堂医院：加藤忠史教授、伊藤賢伸准教授、江東高齢者医療センター：柴田展人教授、浦安病院：宮川晃一准教授、静岡病院：桐野衛二教授、練馬病院：八田耕太郎教授、臼井千恵先任准教授	
Subspecialty領域との連続性	静岡病院では小児思春期精神医学を学ぶことができる。精神薬理学については、全ての病院で学ぶことができる。認知症診療については、江東高齢者医療センターで学ぶことができる。	